

浜松市に優秀賞 プラチナ大賞



プラチナ大賞の優秀賞を受けた浜松市の鈴木康友市長(中央)ら=26日夕、都内

新産業の創出や地域課題の解決に取り組む地方自治体や企業をたたえる「第5回プラチナ大賞」の最終審査会が26日、都内で開かれ、多文化共生都市として多様性を生かしたまちづくりに取り組む浜松市が大賞に次ぐ優秀賞に選ばれた。同市は前回の審査委員特別賞に続き、2年連続の入賞。

最終審査では、全国から応募があった46団体のうち、1次審査を通過した10団体がそれぞれの取り組みを発表した。浜松市は鈴木康友市長、南米系外国人

学校ムンド・デアレグリアの松本雅美校長、外国にルーツを持つ若者グループ「COLORS(カラーズ)」の宮城ユキミ代表が、関係機関・団体が連携して外国人の子どもの不就学をゼロにする事業などを紹介した。

鈴木市長は終了後、「オール浜松の取り組みが評価され、うれしい。日本人だけでなく外国人市民の多様性を生かす社会づくりという新しい提案ができた」と述べた。

大賞は新潟県見附市、伊藤園(東京都)

が受賞した。